

平成24年度 特別推進研究 審査の所見

研究課題名	神経ダイナミクスから社会的相互作用に至る過程の理解と構築による構成的発達科学
研究代表者	浅田 稔
審査の所見	本研究は、ニューロンレベルのミクロな活動と、人間レベルのマクロな行動を繋ぐロジックの構築を目指すもので、特に、身体を考慮した自他認知の獲得過程に焦点を当てて研究を進めるという独創的かつ先進的な研究である。人間の発達過程の解明に寄与し、人間の生活を豊かにするロボットの開発にも結びつく重要な研究課題である。応募者らは、従来から認知発達ロボティクスを提唱し、推進してきており、その高い国際的な業績から、優れた研究成果が期待できるため、特別推進研究として推進することが適切と考えた。